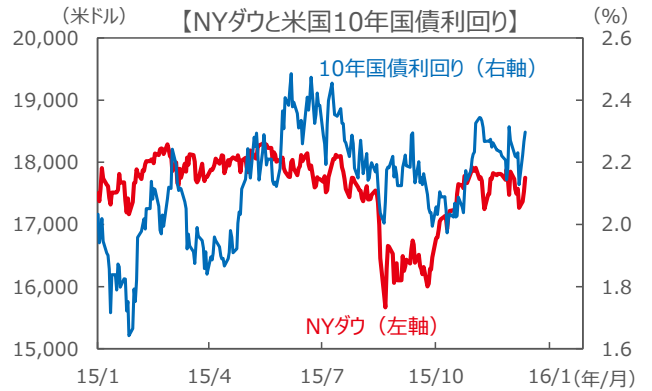


今日のトピック 米国利上げ直後の市場動向 緩やかな利上げペースの明示で「リスクオン」の展開

ポイント1 米国株は上昇 利上げペースの不透明感和らぐ

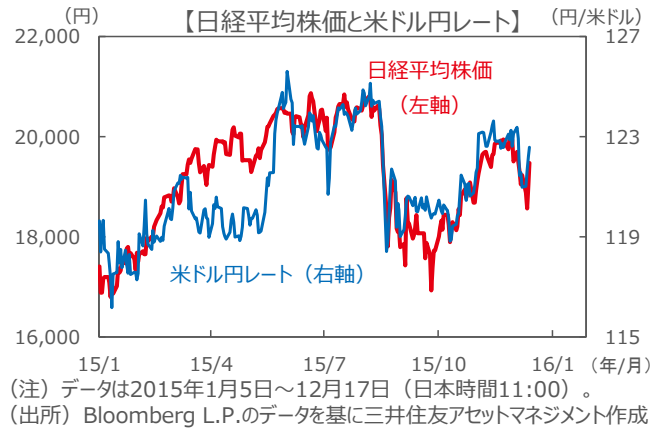
■ 16日の利上げ決定直後の米国株式市場は、総じて決定内容を好感する反応でした。FOMCの声明に、「政策スタンスを緩やかに調整する」と明示されたことや、イエレン議長が利上げ後も金融環境は緩和的と繰り返し強調したことで、将来の利上げペースを巡る不透明感が和らいだことが背景と考えられます。16日の10年国債利回りは、利上げ発表後に一時2.3%を超えて上昇する場面も見られましたが、足元では利上げ前の2.2%台から大きな変化はうかがわれません。



ポイント2 日本株も上昇 ドル高円安が進む

■ 17日の日本株式市場（午前11時時点）も堅調な展開となっています。利上げペースや米国経済の不透明感緩和、円安の進行などから輸出関連銘柄を中心に幅広く上昇しています。

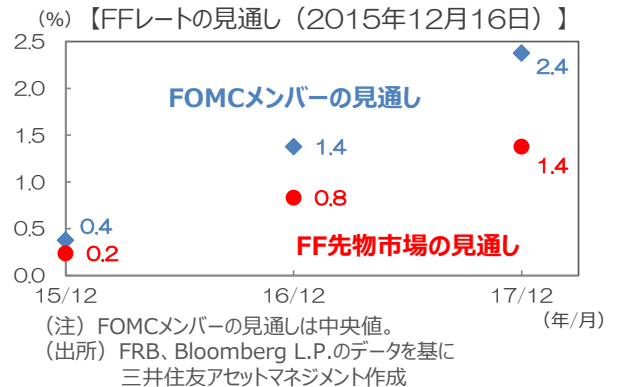
■ ドル円レートは、利上げ前に原油安やそれに関連する低格付け債券などへの不安から一時120円台に円高が進みましたが、足元では122円台に戻す展開です（17日午前11時時点）。



今後の展開 不透明要因がひとつ解消

■ 利上げ決定後も、FF先物市場が織り込むFFレートの見通しはFOMCメンバー見通しと乖離したままです。市場では、FF先物市場に沿って極めて緩やかなペースでの利上げを予想しているようです。

■ 利上げをめぐる不透明要因は解消しましたが、引き続き、原油安や新興国経済に関する不透明要因が市場の注目材料となることが予想されます。



ここもチェック! 2015年12月17日 FOMC声明、緩やかな利上げを明示
2015年12月10日 利上げを後押しする「ページブック」(米国)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。